

2025 年 2 月 16 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

大型血管炎の寛解後の再燃を予測するバイオマーカーの探索

研究の概要

【背景】

大型血管炎は大動脈およびその主要分枝に炎症をきたす血管炎症候群です。治療によって多くの患者さんで症状が改善（寛解）しますが、約半数の方で症状が再び悪化（再燃）することが報告されています。再燃を事前に予測できる血液検査項目（血液マーカー）は現在明らかになっていません。

【目的】

大型血管炎患者さんの寛解後の再燃を予測する新しい血液マーカーを見つけることを目的としています。

【意義】

本研究には以下の意義があります：

- ・再燃のリスクに応じた個別の治療方針の決定に有用な
- ・治療薬（ステロイド）の減量方法の最適化
- ・治療に伴う副作用の軽減

【方法】

JPVAS 血管炎前向きコホート研究および「血管炎症候群の病因、治療反応性ならびに予後に関する観察研究」で保存されている血液検体と情報を用いて、血液検体中に含まれているタンパク質の詳細な解析を行います。

対象となる患者さん

JPVAS 血管炎前向きコホート研究に登録され、血液検体が保存されている大型血管炎の患者さん、または、「血管炎症候群の病因、治療反応性ならびに予後に関する観察研究」（長崎大学病院臨床研究倫理委員会承認番号 15072753）に参加された大型血管炎、ANCA 関連血管炎、結節性多発動脈炎の患者さんと健康な方

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・患者背景（年齢、性別、診断名など） ・疾患活動性 ・画像所見 ・検査所見 ・治療内容 ・再燃の有無と時期

●研究に用いる試料

保存されている血液検体を使用して、血液中に含まれている多数のタンパク質を網羅的に測定します。

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

試料・情報の利用開始予定日

本研究は2025年4月10日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。

あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科

氏名：福井 翔一

住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1

電話：095（819）7262

試料・情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科 福井 翔一

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7262 FAX 095（819）7270

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）